

1年生の授業創造プラン（平成29年度）

	1年生の実態と課題	授業創造プラン	実践記録	成果と課題
国語	【読む能力】 ○授業や音読の宿題などの積み重ねにより、大きな声ではっきりと読むことができる。 ●物語文や説明文において、言葉の意味を理解して読むことは、まだ難しい。	【読む能力】 ・音読を継続し、語彙を豊かにし、正しい発音を身に付けていく。 ・分からない言葉は、その場で一つ一つ意味を確認する。 ・読書活動を推進し、想像力や読解力を伸ばしていく。	【読む能力】	【読む】
	【書く能力】 ○主語述語のある短文を書くことができるようになってきた。 ●短文を書くのに時間のかかる児童がいる。	【書く能力】 ・絵日記や作文を活用し、書く機会を増やしていく。 ・何について書けばよいのか困っている児童には、例を示し、自分のことに置きかえて作文することで力を付けていく。	【書く能力】	【書く能力】
	【話す・聞く能力】 ○友達の発言や発表に興味をもって聞くことができる児童が多い。 ○読み聞かせが好きな児童が多い。 ●全体の前で自分の思いや考えなどを言う時は、声が小さくなる児童がいる。	【話す・聞く能力】 ・ペア学習やグループ学習の場の設定をする。 ・日野市在住の読み聞かせボランティアによる、動物愛護・生命尊重に関する絵本の読み聞かせを行う。 ・「声のものさし」を活用し、発表に適した声の大きさと話せるように指導していく。自信をもって発表できるように、練習時間を設ける。	【話す・聞く能力】	【話す・聞く能力】
	【言語についての知識・理解・技能】 ○文字の学習に対して意欲的で、とめ・はね・はらいを意識して書いている。 ●助詞「は」「を」「へ」、促音、長音が定着していない児童がいる。	【言語についての知識・理解・技能】 ・ひらがな、かたかな、漢字は、ドリルや小テストで繰り返し練習させる。 ・「東京ベーシック・ドリル」を活用する。 ・ノート指導を継続して行う中で、助詞や促音、長音の定着を図る。	【言語についての知識・理解・技能】	【言語についての知識・理解・技能】
算数	【数学的な考え方】 ○たし算の文章題では、立式に必要な言葉や数に着目し、問題を解くことができるようになってきた。 ●ひき算の問題については、立式をすることが難しい児童がいる。	【数学的な考え方】 ・文章題では、継続して必要な言葉や数に着目させ、具体物や半具体物を操作して考えるようにさせる。 ・具体物や半具体物から図式化できるように指導していく。	【数学的な考え方】	【数学的な考え方】
	【数量や図形についての技能】 ○計算問題に関して意欲的に取り組める児童が多い。 ●計算問題を解く時に、正確さや解く速さに差が出ている。	【数量や図形についての技能】 ・「東京ベーシック・ドリル」を活用して、定着を図る。 ・計算ドリルや計算カードを活用して、繰り返し取り組ませる。	【数量や図形についての技能】	【数量や図形についての技能】
	【数量や図形についての知識・理解】 ●量感のつかめない児童がいる。	【数量や図形についての知識・理解】 ・具体物や半具体物の操作を多く取り入れ、量の大小や増減を視覚的に捉えられるようにする。	【数量や図形についての知識・理解】	【数量や図形についての知識・理解】